

# 函館市地域公共交通確保維持改善協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

函館市は、高齢者や障害者に対して、交通料金の助成を実施しており、「福祉」に対する考え方が充実した都市である。

函館地域(函館市、北斗市、七飯町)は、今後確実に高齢者が増えていく地域であり、障害者も含め、交通弱者の移動の利便性や安全性向上を図る必要に迫られている。

## 函館市市生活交通ネットワーク計画の目標

ノンステップバスの導入は、函館地域(函館市、北斗市、七飯町)の利用者、特に、今後確実に増加することが見込まれている高齢者をはじめ、障害者等の移動の利便性や安全性の向上に寄与する公共性の高い有用な事業である。今後も、高齢者を中心としたバス利用者にとって、利用しやすい環境を整備する必要がある。

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく「移動円滑化の促進に関する基本方針」に定める目標を達成するため、乗合バス車両に占めるノンステップバスの比率を平成32年度までに約70%以上とする。

## 平成24年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

- 平成13年度からの3カ年で実施された函館市交通局の路線の移管をうけ、道南で唯一の乗合バス事業者となったのを機に、函館市からの補助をうけ、ノンステップバスの導入を始めた。
- 函館市以外に、近郊市町である、北斗市、七飯町にも呼びかけをし、平成20年度から北斗市、平成21年度から七飯町が函館市と共に協調補助を開始した。

## 地域公共交通の現況

○函館バス(株)  
函館地域管内(函館市、北斗市、七飯町)114系統

## 函館市生活交通協議会開催状況

平成25年2月21日 協議会開催  
事業内容(計画)について協議し合意

## 平成24年度事業概要

ノンステップバス導入(8台)

## 2) 導入車両



## 3) 導入実績

年度	総車両数 A	ノンステップバス 導入台数 B	ノンステップバス 年度末 累計台数 C	ノンステ ップバス の比率 C÷A
平成20年度	277	8	59	21.3%
平成21年度	273	24	83	30.4%
平成22年度	271	10	93	34.3%
平成23年度	271	10	103	38.0%
平成24年度	260	9	110	42.3%

※廃車台数を反映していないため、導入台数の累計(上記のBの加算)が年度末の累計台数(上記のCの値)と一致していない。

※導入台数には中古購入分も加えているため、単年度の導入台数が補助対象台数と一致しない。

## 4) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

## 5) 目標・効果達成状況

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」である平成22年度までに、乗合バス車両に占めるノンステップバスの比率を30%以上とすることを達成した。

新たに平成23年3月に改正された、基本方針である、乗合バス車両に占めるノンステップバスの比率を平成32年度までに約70%以上とすることを目標に導入し続けていく。

## 6) 事業の今後の改善点

目標どおり、着実にノンステップバスを導入し続けている。今後も、確実に増加することが見込まれている高齢者をはじめ、障害者等の移動の利便性や安全性の向上を図るため、ノンステップバスの導入を継続していかなければならない。

## 7) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・計画に従い段階的にノンステップバスの導入率が向上していることは評価できる。
- ・「移動円滑化の促進に関する基本方針」による整備目標は容易に達成できるものではないが、引き続き高い目標設定のもと更なる導入促進が図られることを期待する。